

# 月報 シオン山

2024年12月1日発行 (No411)

\*\*\*\*\*

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

## 【月間聖句】

マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。

この子は自分の民を罪から救うからである。

マタイによる福音書1章21節

ことば

松田明枝

毎年12月になると思いだすのは当時6歳だった息子のことです。  
1990年12月のクリスマス（詳細は省きますが）を、とても楽しみにしていたのですが、運悪く熱を出して残念なクリスマスになってしまったことです。

その翌年1991年3月、小学校進学を目前に事故で他界しました。悲しみに辛い毎日でしたが、小学校へ行くために準備された机やノートを整理していると、ノートに「主我を愛す」と書かれていたのを見つけました。1ページいっばいに教会のお兄ちゃんお姉ちゃんたちから意地悪をされたことに対する怒りの悪口が書かれていました。

最初は何が書いてあるのか読み取れなかったのですが、繰り返し読むうちに文章の縦一列に「しゅわげをあいす」と書かれていることに気付きました。どうしてこんな言葉を知っているのか調べると子供礼拝で歌っていた讚美歌461番とのことでした。

わたしは、この言葉をお守りにしようとその言葉だけを切り取ってあとは捨ててしまったのです。その事を、荒瀬昇先生に話したところ、悪口の部分があるからこそ、その言葉が生きてくるのだと大変残念がられました。

ほかのページには”おじいちゃんおばあちゃんがんばれ”と書いたページもありました。

保育園の先生方が、子供が卒園式に間に合わなかった事を気にかけくださり、ささやかなお別れ会を設けて下さったとき、先生方から私の知らない園内での子供の話の中で「先生が天国に行くときは僕が電車で迎えに行くからね」と言われたと聞きました。

このことについても荒瀬先生に尋ねてみました。先生からは「よく死ぬにはよくいきなさい」と一言・・・難しい!!! 悲しみに明け暮れているわけにはいきません、私も電車で迎えに来てもらえるように、息子が残してくれた言葉に支えられながら、その時に向かって生きていきたいと願っています。